

平成 25 年 度

事業 報 告 書

平成 26 年 3 月

公益財団法人 徳川黎明会

総 務 部

徳川美術館

徳川林政史研究所

目 次

I. 管理部門	P. 1
II. 公益目的事業	P. 7
III. 収益事業	P. 42

特 記 事 項

I . 管 理 部 門（本部・総務部）

[1] 官庁（内閣府）関係

- (1) 平成25年6月 平成24年度事業報告書並びに決算報告書等を提出した。
- (2) " 公益認定法で要請されている事業計画書、事業報告書等を提出した。
- (3) 平成26年3月 平成26年度事業計画書並びに予算書等を提出した。

[2] 諸規程の制定及び労務管理の整備

新たに内部通報制度運用規程を制定した。また、人事考課制度・給与制度改革を推進した。

[3] 監査

2名の監事により、平成25年5月23日に平成24年度の決算監査が実施されその結果適法正確と認められた。

また税理士による毎月の月次監査を実施した。

[4] 組織再編

美術館における組織の再編を実施した。

[5] 建物等工事

- ①本部建物漏水補修工事 ②三号書庫・図書室環境微生物モニタリング
- ③三号書庫・図書室系統空調ダクト清掃 ④同ダクト設備工事

[6] 理事会・評議員会開催

1. 理 事 会

第1回理事会

○開 催 平成25年5月31日 午後2時00分 当会に於いて

○議 案

第1号議案 平成24年度監査報告の件

第2号議案 平成24年度事業報告及び附属明細書承認の件

第3号議案 平成24年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録承認の件

第4号議案 評議員会招集の件

○結 果

第1号議案

審議の結果一同異議なく、承認可決された。

第2号・第3号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果一同異議なく、両議案とも原案の通り承認可決された。

第4号議案

公益財団移行後における評議員会は理事会の決議をもって召集されることになっているため、本日の理事会の承認をもって、来る6月21日午前10時半から評議員会を開催したいとの提議があり、一同異議なく、承認可決された。

第2回理事会

○開 催 平成26年3月25日 午後2時 当会に於いて

○議 案

第1号議案 平成26年度事業計画書承認の件

第2号議案 平成26年度予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件

第3号議案 寄附金受け入れの件

第4号議案 規程制定の件

○結 果

第1号・第2号・第3号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果一同異議なく、三議案とも原案の通り承認可決された。

第4号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果、一同異議なく、原案の通り承認可決された。

第3号議案

名古屋在住の方より当会活動支援基金に10,000千円の寄附の申し出があった。指定正味財産として活用したいとの提議があり、一度異議なく、承認可決された。

2. 評 議 員 会

第1回評議員会

○開 催 平成25年6月21日 午前10時30分 当会に於いて

○議 案

第1号議案 議事録署名人選定の件

第2号議案 平成24年度計算書類並びに財産目録承認の件

○結 果

第1号議案

議事録署名人については、室瀬和美氏選定の提議があり、その可否について諮ったところ出席者一同異議なく、承認可決された。

室瀬和美氏からは、お受けするとの発言があった。

第2号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果一同異議なく、原案の通り承認可決された。

[7] 文部科学省への届出・報告事項

1. 平成25年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書を提出した。平成25年4月
2. 平成24年度科学研究費補助金（特定奨励費）実績報告書を提出した。平成25年5月

[8] 役員及び評議員、職員（平成26年3月31日現在）

1. 役員

理事 計 7名

役 名	氏 名	職 業
会 長	徳川 義崇	八雲産業(株)社長、徳川美術館 館長
専務理事	近松真知子	(公財) 徳川黎明会 総務部長
常務理事	竹内 誠	東京学芸大学名誉教授、徳川林政史研究所 所長
理 事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
〃	小林 忠	学習院大学名誉教授
〃	徳川 斉正	(公財) 徳川ミュージアム理事長
〃	前田 利祐	(公財) 前田育徳会 代表理事

監事 計 2名

役 名	氏 名	職 業
監 事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所長
〃	松平 頼武	(学) 本郷学園 理事長

評議員 計 7名

役 名	氏 名	職 業
評 議 員	太田 宏次	(公財) 東洋医学研究財団 理事長
〃	小林 喬	富国生命保険(相) 相談役
〃	田中 秀隆	(公財) 三徳庵 理事長
〃	濱本 英輔	(株) ロッテ 顧問
〃	原 俊夫	(公財) アルカンシエール美術財団 理事長
〃	松方 冬子	東京大学史料編纂所 准教授
〃	室瀬 和美	(株) 目白漆芸文化財研究所 代表取締役

役員総計 16名

他に相談役3名（竹内順一、竹田憲央、中田易直）となっている。

2. 職員

総務部 計 3名（他に非常勤学芸員 2名）

職 名	職 階	氏 名
兼 部 長	専務理事	近松真知子
課 長・秘書室長（庶務担当）	主事補	神田 映子
課 長（会計・経理担当）	〃	田中 博之

徳川美術館 計19名（他に非常勤研究員 7名（うち1名 評議員兼任）、非常勤学芸員 1名）

職 名	職 階	氏 名
兼 館 長	会 長	徳川 義崇
副 館 長	参事補	四辻 秀紀
学 芸 部	兼 部 長	参事補
	兼 部長代理	主 事
	課 長	主事補
	係 長	書 記
		〃
		〃
		〃
企 画 推 進 部	兼 部 長	参事補
	兼 部長代理	主 事
	課 長（教育・普及担当）	主事補
	係 長	書 記
		〃
		〃
		〃
		〃
管 理 部	兼 部 長	参事補
	課 長（管理担当）	主事補
	課 長（庶務担当）	〃
	係 長	書 記
		〃

徳川林政史研究所 計 6名 (他に特任研究員15名、非常勤研究員9名、非常勤研究生11名)

職 名	職 階	氏 名
兼 所 長	常務理事	竹内 誠
副 所 長	嘱 託	深井 雅海
係 長	書 記	鶴岡 香織
	〃	白根 孝胤
研 究 員	嘱 託	藤田 英昭
〃	〃	芳賀 和樹

職員総計 28名(うち3名役員兼任)

※他に 非常勤学芸員 3名、特任研究員 15名、 非常勤研究員 16名(うち1名 評議員兼任)、 非常勤研究生 11名、また、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱しており、この人員は美術館 4名・林政史研究所 4名となっている。

Ⅱ. 公益目的事業

〔公 1〕

美術館の運営事業(徳川美術館)

〔1〕調査・研究

1. 研究

課 題 (開始年)	担 当
(1)館蔵品悉皆調査 (昭和63年)	学 芸 部 共 同
(2)尾張徳川家関係寺社蔵品調査 (昭和58年)	
(3)古代・中世の料紙装飾の系譜 (昭和60年)	副館長・学芸部長 四辻秀紀
(4)歌絵・物語絵の研究 (平成3年)	
(5)徳川将軍家と尾張家の研究 (平成19年)	学芸部部長代理・ 企画推進部部長代理 原 史彦
(6)長篠・長久手合戦の研究 (平成20年)	
(7)近世絵画の研究 (平成6年)	学芸部 課長 吉川美穂
(8)尾張を中心とする画家の活動について (平成11年)	
(9)尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について (平成8年)	学芸員 並木昌史
(10)有職装束の研究 (平成8年)	
(11)松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究 (平成21年)	
(12)近世絵画の研究 (平成24年)	学芸員 薄田大輔
(13)江戸初期絵画研究 (平成24年)	学芸員 加藤祥平

課 題 (開始年)	担 当
(14) 古代・中世の仏教絵画の研究 (平成25年)	学芸員 安藤香織
(15) 東洋陶磁の研究 (平成25年)	学芸員 吉富真知子

2. 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) による研究

基盤研究(B)

交付期間 独立行政法人日本学術振興会
 研究課題名 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究
 研究分担者 安藤香織 (学芸員)

〔2〕文化財保存

1. 修 理

基本美術品

国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面 (関屋 絵、柏木(三) 絵、竹河(一) 絵、
 東屋(一) 絵、宿木(二) 絵)

(以上1件は国宝重要文化財等保存整備費補助金 (国庫補助事業) による修理、
 昨年度より継続)

普通美術品

拾遺集切 伝藤原定家筆 一幅
 徳川家康長久手合戦陣中画像 狩野安信筆 一幅
 徳川家康十六神将像 一幅
 豊臣秀吉画像 (模本 原本・宇和島伊達家本) 一幅

(以上4件は文化財・史料補修費による修理)

紅綸子地葵紋付帆掛舟に千鳥文鎧下着 (※昨年度からの継続) 一領

(以上1件は活動支援基金による修理)

2. 購入

普通美術品

武野紹鷗消息	一幅
葉月物語絵巻 狩野養信（晴川院）模写	一卷

3. 寄贈

受贈美術品

短刀 無銘	一口	山本榮子氏
葵紋付青貝微塵塗脇差拵	一腰	〃
五字一行書「知足以自識」 徳川義親筆	一幅	飯田悠紀子氏
砂張建水	一口	近藤昭彦氏
瀑布図 森高雅筆	一幅	砂川玲子氏
雛人形・雛道具	一式	平山眞理子氏
和歌懷紙「詠伴松栄久和歌」 後西天皇筆	一幅	鶴田 大氏
鶴・破亀甲に菊紋付染付大皿・花鳥文染付大皿	各一枚	佐々木教裕氏(西光庵住職)
黒塗葵紋付広蓋	二枚	〃
人形 各種	一式(121体 3箱)	〃
雛道具 各種	一式(96点 3箱)	〃
黒塗秋草蒔絵重箱	一組	〃
黒塗葵紋付蠅帳	一基	〃
黒塗破七宝に草花文重箱	一組	〃
風景図染付皿・菊折枝染付皿	三十六枚	〃
黒塗秋草図吸物碗	十客	〃
朱塗鯉蒔絵吸物碗	九客	〃
和歌短冊 和宮筆	一幅	〃
葵紋蒔絵懸盤	四客	〃
黒塗橘唐草蒔絵湯桶	一個	〃
鉄線蒔絵盃台	一個	〃
朱塗松竹梅蒔絵三ツ組盃・葵紋付蒔絵三方	一組・二基	〃

4. 収蔵品の撮影

館 内

- (1)特別展「徳川慶勝」関係
- (2)秋季特別展「歌仙」関連
- (3)特別展「将軍からのおくりもの」および蓬左文庫春季特別展「徳川宗春」関係
- (4)刀剣カラー撮影

〔3〕教 育 ・ 普 及

1. 定期研究発表会

(内 容)		(年月日)	(講 師)
第63回	新発見 徳川家康書状にみる戦国武将の处世	25. 8. 3	原 史彦
第64回	狩野常信筆「吉野図屏風」に関する一考察	26. 3. 22	薄田大輔

2. 記念講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)	
漆の魅力 - その技と美	25. 4. 13	榑目白漆芸文化財	室瀬和美氏
尾張徳川家所蔵品を中心に		研究所 代表取締役	
幕末の写真と徳川慶勝	8. 11	日本大学藝術学部教授	高橋則英氏
歌仙とよばれた人々	10. 19	歌 人	馬場あき子氏

3. 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)	
写真でつづる近代の尾張徳川家と会津松平家	25. 4. 20	徳川義崇	
唐物漆器と蒔絵	5. 11	鶴見大学教授	小池富雄
備前刀の受容	6. 15	並木昌史	
名古屋東照宮祭礼図を読み解く	7. 6	吉川美穂	
徳川慶勝の生涯	9. 7	原 史彦	
江戸初期における歌仙絵の受容	10. 5	加藤祥平	
日本美術における異界表現	11. 16	薄田大輔	
蓬左文庫と大須文庫 名古屋の文庫の近代	26. 1. 11	名古屋市蓬左文庫学芸員	木村慎平
岡倉天心と利休	2. 22	大日本茶道学会副会長	田中仙堂
ひなまつりの文化と歴史	3. 8	四辻秀紀	

4. 夏期講座「歌仙 ―王朝歌人へのあこがれ―」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
歌仙絵について	25. 8. 20	岡崎市美術博物館長 榊原 悟氏
歌仙絵の書法 秘伝の形成と受容	〃	帝京大学短期大学教授 中村健太郎氏
もうひとつの寛永文化論 武家と道具	8. 21	大手前大学教授 岡 佳子氏
十七世紀の歌仙絵	〃	加藤祥平
見学会 (詩仙堂・金地院・京都国立博物館)	8. 22	

5. 能楽講座「尾張徳川家の能『土蜘蛛』」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
土蜘蛛の住処を作りましょう	25. 4. 6	シテ方観世流 観世喜正氏
土蜘蛛の正しい間狂言をお見せします	5. 18	狂言方和泉流 井上松次郎氏
土蜘蛛の存在と滅び	6. 8	歌人 馬場あき子氏
土蜘蛛や怪物退治の音楽とは？	7. 27	笛方藤田流家元 藤田六郎兵衛氏

6. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	
それぞれの幕末維新 高須四兄弟の生き方	25. 6. 8	竹内 誠
幕末における将軍の言葉	6. 15	深井雅海
徳川慶勝 八雲開拓への想い	6. 22	藤田英昭
木曾山の明治維新	6. 29	芳賀和樹
古写真が語る慶勝の幕末・明治(一)	7. 6	白根孝胤
〃 (二)	7. 13	〃

7. ギャラリー・トーク (午前・午後2回)

備前刀の系譜	並木昌史	25. 6. 14・7. 12
夢幻能	薄田大輔	11. 26・12. 3
新年を祝う	吉川美穂	26. 1. 10・24

8. 古美術相談会

5回開催5件。この他に写真の郵送、来館などにより計17件の古美術相談を行った。

9. 体験講座 ―日本の伝統文化にふれる―

聞香	団体	28件 計640名
貝あわせ	団体のみ	11件 計350名

10. 名曲講座

(内 容)	(年月日)	(入場者)
(1) 内匠 慧 ピアノ・リサイタル (中日新聞社共催)	25. 5. 12	140名
(2) ベン・キム ピアノ・リサイタル (中日新聞社共催)	7. 5	110名

11. 特別企画

- (1) 端午の節供 特別企画 親と子の甲冑教室2013 のべ来場者 500名 (25. 5. 5)
- (2) 夜間開館イブニングトーク (8. 9)
- (3) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画
- ①目で見ると雛まつり 十二単着装公開(2回) 来場者約800名 (26. 3. 1)
 - ②オリジナル 香袋・文香をつくる (3. 16)
 - ③尾張徳川家の雛まつりを楽しむ 計146名 (26. 2. 23、27、3. 11)

12. 夏期夜間延長開館 25. 8. 9～11

隣接する徳川園が夏期に開館時間を延長するのに合わせ、当館でも上記3日間に限り、開館時間を2時間延長して午後7時まで開館した。

13. 見学会

- 第49回 葵祭と茶道資料館「永青文庫所蔵香道具展」 (25. 5. 15)
- 第50回 高須松平家ゆかりの地をめぐる (8. 29)

14. 学芸員実習 7名 (25. 7. 30～ 8. 6)

15. 特別観覧

25年度は以下の通り計20件の特別観覧申請に応じた。

- 25年5月(1) 小嶋菜温子氏(立教大学教授) ほか4名
- 6月(2) 尾野善裕氏(京都国立博物館)
- (3) 川畑憲子氏(九州国立博物館) ほか2名
- 7月(4) 金子雅宣氏(愛知県総務部法務文書課県史編さん室) ほか2名
- (5) 朴 鮮瑩氏(社団法人韓国美術史研究所)
- 8月(6) 後藤健一郎氏(和泉市久保総記念美術館) ほか1名
- (7) 眞木隆志氏(NHK科学環境番組部) ほか4名
- (8) 小笠原信夫氏(東京国立博物館名誉館員)

- 8月(9) 沖本忠久氏(西日本電信電話株式会社 技術革新部 技術部門) ほか5名
 (10) 梅村美紀子氏(豊田市教育委員会 市史編さん室) ほか2名
 (11) Stephen Little氏(Los Angeles County Museum of Art) ほか1名
 10月(12) 重富滋子氏(大阪市立東洋陶磁美術館) ほか1名
 (13) 門前要佑氏(淡交社) ほか1名
 11月(14) 田島 整氏(ロンドンギャラリー) ほか3名
 12月(15) 比嘉悦子氏(沖縄県宜野湾市立博物館) ほか2名
 26年1月(16) 高橋夕美恵氏(MIHO MUSEUM) ほか2名
 (17) 小林健二氏(国文学研究資料館)
 (18) 福原敏男氏(武蔵大学) ほか4名
 2月(19) 西岡康宏氏(渋谷区立松濤美術館) ほか1名
 3月(20) 古川攝一氏(大和文華館)

16. 大学等非常勤講師としての出講の承認

四辻秀紀	①南山大学	前期
	②愛知淑徳大学	後期
	③中京大学	秋学期集中
原 史彦	①名古屋芸術大学	通年
吉川美穂	①同朋大学	前期
	②名古屋芸術大学	後期集中
	③椋山女学園大学	集中

その他、外部機関からの依頼を受け、随時職員を派遣した。

17. 職員の委嘱

四辻秀紀

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ①財団法人 芭蕉翁顕彰会 参与 | 21. 3. 23～調査終了時 |
| ②愛知県県史編さん委員会(典籍班) | 24. 4. 1～調査終了時 |

原 史彦

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ①愛知県県史編さん委員会特別調査委員(近世史) | 24. 5. 1～調査終了時 |
| ②東京大学史料編纂所特定共同研究員 | 25. 4. 1～26. 3. 31 |

吉川美穂

- ①愛知県 県史編さん委員会特別調査委員（近世絵画史） 19. 4. 1～調査終了時

加藤啓子

- ①文化庁 平成25年度「博物館の管理運営に関する研修」企画運営会議委員
25. 5. 21～26. 3. 3

18. 館長講演活動

館長 徳川 義崇

(主催)

(演題)

- | | | |
|--|-----------------------------------|-----------|
| (1) 徳川美術館（土曜講座） | 「写真でつづる
近代の尾張徳川家と会津松平家」 | 25. 4. 20 |
| (2) 一般社団法人
いけばなインターナショナル | 「文化を守る」 | 6. 21 |
| (3) 繊維学会 | 「文化を守る」 | 9. 5 |
| (4) 九州国立博物館、西日本新聞社 等 | 「“殿”文化を語る
—『国宝 源氏物語絵巻』を伝えた系譜—」 | 10. 12 |
| (5) シンポジウム「人間国宝と語る琉球の
うるし・創造と未来」実行委員会 等 | 「父・徳川義宣の琉球漆器への思い」 | 11. 17 |
| (6) 名古屋昭和ロータリークラブ | 「文化を守る」 | 11. 24 |
| (7) 一般財団法人
デジタル文化財創出機構 | 「文化を守るには」 | 12. 4 |
| (8) 名古屋税理士会千種支部 | 「文化を守る」 | 26. 1. 9 |

19. 雑誌・報道広報資料作成

- (1) ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

- (2) ニュースレター作成

①企画展プレスレビュー

漆の美-彫漆・螺鈿・蒔絵、備前刀の系譜、徳川慶勝、歌仙、夢幻能、新年を祝う
尾張徳川家の雛まつり

②記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

③名曲講座、定期研究発表会、記念講演会、8月夜間開館、新春プレゼント掲載依頼

④親と子の甲冑教室、十二単着装公開、夏休み子ども特別企画参加者募集、香袋づくり教室、ひな御膳 掲載依頼

⑤土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、十二単着装公開 取材依頼

⑥特別公開「国宝 源氏物語絵巻」・「泪の茶杓」

20. ホームページ・フェイスブックの随時更新

21. 生徒・学生への教育普及活動・館外出張講座

(1) 土曜子ども教室

25.4.6～26.3.29 46日実施 子ども579名・大人318名 合計897名参加

毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」（月替わりで収蔵品を紹介）、「体験タイム」（月替わりで大名文化を体験）、常設展展示室での展示解説。

(2) 夏休み「文化のみち」子ども教室「徳川慶勝ってだあれ？」

名古屋市立小中学校ほかにポスター作成・配布		500枚
ギャラリー・クイズ	8. 1～9. 1	890名
小中学生の歴史教室「徳川慶勝ってだあれ？」	〃	731名
歴史文化体験「遊んで作ろう貝あわせ」	〃	422名

(3) 体験学習受け入れ・出張教室

<受け入れ>

名古屋外国語大学留学生40名、実践女子学園中等部修学旅行280名、トライデントスクール留学生26名、愛知大学学生56名、南山大学学生50名、愛知学院大学学生20名、藤里小学校53名、清水小学校6年生39名、大山田東小学校103名、椋山女学院28名、名古屋大学留学生20名ほかが貝あわせ、刀バラバラ、子ども出世すごろくなどの体験後、館内を見学した。
そのほか分散学習や質問に应对、のべ72団体。

<出張教室>

9月11日 午前 志水小学校、午後 瀬戸市祖母懐小学校にて実施。

2 2. 中学・高校・大学 職場体験・訪問の受け入れ

職場体験として中学生6校22人、職場訪問として6校28人を受け入れた。

2 3. 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 25. 7. 31

中学校の部6名、小学校の部7名の参加があった。

2 4. 他施設との協力事業

(1) 国立劇場おきなわ 第3回県外講演

琉球文学の視点から観る 古典芸能の魅力（講座と古典舞踊実演）25. 9. 28

(2) やっとかめ文化祭 まちなか寺子屋

和の香りを楽しむ 聞香 11. 9

名古屋に伝えられた源氏物語 講師：四辻秀紀 11. 23

(3) 名古屋城との連携強化

名古屋城から割り当てられたブースで、入館券・ミュージアムグッズ等の物販及びチラシ配布を実施

*名古屋城梅祭り 26. 2. 21～23

*宗春おもちゃまつり 3. 21

(4) 文化のみち 雛巡りスタンプラリー 26. 2. 8～3. 16

文化のみち7施設と連携して、各施設で雛祭り関連企画を実施。

パンフレット8,000枚を各施設で配布、4施設以上を巡った人数541名

2 5. 学会活動

私立美術館会議事務局（平成3年より）

第23回 私立美術館会議 25. 10. 18開催 於 五島美術館

大名道具収蔵館研究会（平成4年より）

第20回 研究会 25. 12. 2開催 於 香川県立ミュージアム

2 6. 平成25年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（事業提携）

夏休み「文化のみち」子ども教室・文化のみち雛巡り

*補助金 1,081,835円

27. 第92回名古屋市文化史教室（事業提携）

夏休み「文化のみち」子ども教室を名古屋市と共催した。

*補助金・助成金等の交付なし

〔4〕展 覧 会

1. 常設展示(第1～6室)

(1)大名の生活と文化	約1ヶ月毎に展示替		
	常設展示入場者数(企画展示期間を除く)		6,341人
(2)特別公開	国宝源氏物語絵巻 宿木二・関屋・絵合	25. 11. 16 ～ 11. 24	第5室
(3)特別公開	千利休 泪の茶杓	26. 2. 22 ～ 3. 3	第2室

2. 企画展示（第7～9室）

	(会 期)	(入場者数)
(1)春季特別展 漆の美 -彫漆・螺鈿・蒔絵- (中日新聞社共催)	25. 4. 13 ～ 5. 26	26,371人
(2)企画展示 備前刀の系譜 (日本経済新聞社共催)	6. 1 ～ 7. 21	22,248人
(3)歿後130年記念 夏季特別展 徳川慶勝 -知られざる写真家大名の生涯 (名古屋市蓬左文庫・朝日新聞社共催)	7. 27 ～ 9. 23	30,365人
(4)秋季特別展 歌仙 -王朝歌人への憧れ- (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	9. 28 ～ 11. 4	22,760人
(5)企画展示 夢幻能 -うつつと異界の境- (朝日新聞社共催)	11. 9 ～ 12. 13	21,302人
(6)企画展示 新年を祝う (日本経済新聞社共催)	26. 1. 4 ～ 2. 2	9,768人
(7)特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2. 8 ～ 4. 6	43,286人

企画展示入場者数合計	176,100人
平成25年度総入場者数	182,441人

3. 特別観覧

	(会 期)	(入場者)
(1) 名香鑑賞会	25. 5. 25、26 (2日間)	492人
(2) 徳川茶会	25. 10. 6～11. 3(8日間)	2,556人

4. 蓬左文庫展示室

展示室1・2	名古屋城下御深井御庭 一殿さまの秘園－ (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	25. 4. 13～ 5. 26
展示室1	尾張名古屋の絵師たち	6. 1～ 7. 21
2	尾張のまつり	
展示室1・2	夏季特別展 徳川慶勝 一知られざる写真家大名の生涯－ (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	7. 27～9. 23
展示室1・2	秋季特別展 歌仙 一王朝歌人への憧れ－	9. 28～11. 4
展示室1・2	源氏物語の世界	11. 9～12. 13
展示室1	旅をつづる	26. 1. 4～ 2. 11
2	名所図会の世界	
展示室1	ひなの世界	2. 14～ 4. 6
2	大名家の礼法 一小笠原家伝書－	

5. 巡回展

「御三家筆頭 尾張徳川家の至宝」	九州国立博物館	25. 10. 12～ 12. 8
------------------	---------	-------------------

6. 他館主催展覧会への所蔵品出陳

(出陳先)	(展覧会名称)	(期 間)	(出陳品)
秩父宮記念公園	勢津子妃殿下のお雛様	2014/5/11 ～6/9	雛飾り等 計12件
岐阜市歴史博物館	岐阜の茶の湯	5/17～6/30	唐物茄子茶入等 計5件
愛知県陶磁資料館	陶磁の名品、ここに集 う	6/1～7/28	白天目等 計2件
出光美術館	文字の力・書の力Ⅱ	7/6～8/18	六字一行書 「南無布袋和尚」
東京国立博物館	和様の書	7/13～9/8	重之集等 計6件
財団法人 今日庵 茶道資料館	千少庵	9/3～10/6	三島筒茶碗 銘 藤袴 等 計3件
島根県立美術館	出雲阿國	9/27～11/4	歌舞伎図巻 上巻
名古屋城管理事務所	巨大城郭 名古屋城	10/12～11/24	楽器図等 計5件
和泉市 久保惣記念美術館	単彩画	10/12～12/1	百番謡本等 計12件
京都国立博物館・ 長崎歴史文化博物館	魅惑の清朝陶磁	10/12～3/3	三彩獅子形燭台等 計3件
五島美術館	光悦展	10/26～12/1	本阿弥光悦書状 寿命院宛
根津美術館	井戸茶碗	11/21～2/15	井戸茶碗等 計2件
Freer and Sackler Gallery	Chigusa and the Art of Tea	2/22～7/27	茶壺 銘 大般若等 計3件
MIHO MUSEUM	江戸の異国万華鏡一更 紗・びいどろ・阿蘭陀	3/15～6/8	和歌短冊等 計3件

〔5〕編 集

1. 特別展図録(部内)

(1) 夏季特別展「徳川慶勝 ―知られざる写真家大名の生涯―」

- ・編集および図版解説 原 史彦

(2) 秋季特別展「歌仙 ―王朝歌人への憧れ―」

- ・絵画化された歌人たち 四辻秀紀
- ・十七世紀 歌仙絵の諸相 加藤祥平
- ・十七世紀官画派の歌仙絵と歌意図 薄田大輔
- ・東照宮歌仙額の製作経緯 原 史彦
- ・方形の小宇宙 ―色紙形―に描かれた歌仙 吉川美穂
- ・図版解説

四辻秀紀・原 史彦・吉川美穂・並木昌史・薄田大輔・加藤祥平・安藤香織

2. 金鯢叢書 第40輯

- (1) 松花堂昭乗の歌仙絵について 加藤祥平
- (2) 復古大和絵派と近世大和絵 ―浮田一蕙と土佐派の源氏絵を中心に― 薄田大輔
- (3) 尾張徳川家「御衣紋方」について
―「御衣紋方御用留」にみる尾張徳川家当主の儀礼と服飾― 並木昌史

〔6〕徳川慶勝撮影写真資料の共同調査

徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究のため、徳川林政史研究所と相互の研究を深化させるべく努めた。

その成果は徳川美術館における夏季特別展「徳川慶勝―知られざる写真家大名の生涯―」(会期：平成25年7月27日～9月23日)の実施、図録刊行、また徳川林政史研究所における『写真集 尾張徳川家の幕末維新 ―徳川林政史研究所所蔵写真―』徳川義崇監修・徳川林政史研究所編(吉川弘文館)の刊行に繋がった。

〔7〕図 書

1. 図 書

『中国絵画総合図録 三編 第一巻 アメリカ・カナダ篇』、『蜂須賀家記』、『中国陶瓷史の研究』、『源氏物語続篇の研究』などの他、『新・国史大年表』、『大東急記念文庫善本叢刊』、『史料纂集 古記録編』などの継続により、計239冊を購入。また、『岩佐又兵衛全集 絵画篇・研究編』、『尾州家河内本 源氏物語』など計422冊の寄贈を受けた。

2. 雑 誌

『國華』、『佛教芸術』、『美術史学研究』、『文物』、『故宮學術季刊』などの定期購読のほか、計348冊を購入。また、『茶道の研究』、『美術研究』、『MUSEUM』、『茶の湯文化学』、『同仁』ほか、多数の寄贈を受けた。

〔8〕館蔵品コンピューター入力

1. キャプション・解説カード作成・データ入力
2. 展示作品リスト（来館者用）作成
3. 調書入力
4. 写真データ入力

〔9〕 広 報 活 動

1. 来館者誘致活動

（1）団体来館者の利用促進 （平成25年度実績 24,173名）

- * 旅行会社への働きかけ（関東、近畿、北陸、東海の大手旅行社・バス会社への働きかけ）
- * PTA・大学同窓会など学校関係への働きかけ
- * 学会・協議会などへの会場貸出の資料送付
- * 地元企業への営業活動、社内報への記事掲載
- * 松坂屋友の会との企画旅行を実施
- * 名古屋観光コンベンションビューローの観光プロモーションへ参加
- * 大学メンバーシップルートでの展覧会等情報提供の実施

（2）個人来館者の利用促進 （平成25年度実績 158,268名）

①旅行会社、名古屋鉄道への広報宣伝協力要請

- * 名鉄中吊りポスターとチラシの設置要請

夏季特別展「徳川慶勝」、秋季特別展「歌仙」、特別展「尾張徳川家の雛まつり」

- * 各旅行会社へ個人旅行向けのパンフレットに情報掲載（JTB・近ツー・JR東海）

②前売券の販売促進

- * 25年度も百貨店友の会（4店舗）での販売を行った

他にプレチケ、チケットぴあ、ローソンチケット、東海4県生協で販売実績

- * 愛知県生活協同組合で割引券の取り扱い開始
- * ウェスティンナゴヤキャッスルにて宿泊プランを実施（慶勝展、雛まつり展）
- * イベント出店時にチケット販売を実施
- * 名古屋城・徳川園との3館セット券を本丸御殿オープン記念で販売
- * 雛まつり展「雛満喫プラン」

③近隣地域・施設・組織との連携

- * 大曽根商店街との連携（駅から道沿いの店舗でポスターの掲示）
- * 瀬戸市観光協会との雛まつり展の相互PR連携
- * ランの館との共通券販売（平成26年3月31日で取扱終了）
- * 東区、北区にて聞香体験会のチラシ配布に、町内会ネットを利用した。
- * JR・地下鉄のウォーキング時に割引券付きチラシを配布

④各団体と連携したスタンプラリーを実施

＊名古屋観光コンベンションビューローの観光スタンプラリー実施(4月・9月)

＊愛知観光協会と産業観光スタンプラリーを実施(6月)

⑤定期的に各体験講座を実施

＊和の香りを楽しむ間香体験講座(7月・11月・3月)

⑥夜間貸出および会場貸出

企業夜間貸出1件、講堂貸出1件

⑦賛助会・友の会

平成25年度は、賛助会会員のための企画展内覧会を例年通り随時開催した。友の会については平成26年2月に現会員(平成25年度)に入会案内を送付した。

賛助会法人会員については、草川工業、愛知企画、DNP中部、やまかみ内科循環器科が新規に加入。

※会員状況 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

賛助会

会員種類	会員数	前年比
個人会員	146件(147口)	0件
家族会員	30件(32口)	4件減
法人会員	59件(59口)	4件増

友の会 (一般会員385名中4名が半期入会(4,200円)の会員)

会員種類	会員数	内 訳		前年比
		新規	継続	
一般会員	385件(385口)	82件	293件	7件増
情報会員	35件(35口)	11件	24件	12件増

2. 大学メンバーシップの加盟校募集活動

平成25年度は愛知県立芸術大学の学生・教職員と名古屋大学の教職員が新たに加盟した。平成26年3月31日現在、加盟校は以下の通りである。

愛知学院大学	愛知県立芸術大学*	愛知県立大学*	愛知工業大学*	愛知産業大学*
愛知淑徳大学	桜花学園大学*	名古屋短期大学	金城学院大学	椋山女学園大学
中京大学*	中部大学*	東海学園大学*	同朋大学*	名古屋大学*
名古屋学院大学*	名古屋外国語大学	名古屋芸術大学*	名古屋工業大学*	名古屋市立大学*
名古屋造形大学*	南山大学*	名城大学	名古屋文化短期大学*	
名古屋学芸大学*	名古屋学芸短期大学*	名古屋ファッションビジュアル専門学校*		

(計27校) *は教職員も加盟している学校

3. 休館日及び閉館後等における時間外の利用誘致・会場貸出

- (1) 夏期夜間延長開館 25. 8. 10～12
- (2) 時間外会場貸出 9. 26 榊名優、10. 9 悠牛会
- (3) 時間内会場貸出 6. 21 いけばなインターナショナル、11. 3 名古屋徳川ライオンズ倶楽部、26. 3. 15 コリアンワールド

4. 刊行物・印刷物の作成・配布

- (1) ポスター・パンフレット作成
(徳川美術館パンフレット、土曜子ども教室 ポスター・パンフレット、夏休み子ども特別企画 ポスター)

- (2) 割引券・年賀状・招待券作成

- (3) 優待券作成

- (4) 美術館たより「葵」の作成

第86号 3月31日発行
エッセイ「漆芸品の宝庫 徳川美術館」 秋田市立千秋美術館館長 小松大秀

第87号 7月1日発行
エッセイ「写真が語る徳川慶勝の足跡」 徳川林政史研究所研究員 白根孝胤

第88号 10月1日発行
エッセイ「学芸員稼業」 岡崎市美術博物館館長 榊原 悟

第89号 1月1日発行
エッセイ「徳川美術館の魅力」 愛知県知事 大村秀章

5. プレスレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(1)漆の美	25. 4. 12	1	2
(2)端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	1	1
(3)備前刀の系譜	5. 31	2	1
(4)徳川慶勝	7. 26	1	2
(5)歌仙	9. 27	1	1
(6)夢幻能	11. 8	0	1
(7)特別公開 国宝源氏物語絵巻	11. 16	2	3
(8)新年を祝う	26. 1. 4	1	3
(9)尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 7	2	5
(10)特別公開 泪の茶杓	2. 23	0	3
(11)十二単着装公開	3. 1	2	1

6. 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
- ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ 小さな蕾ほか

7. 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、海津市民版
 キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、
 名鉄の車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示
 テレビ愛知にて夢幻能・国宝源氏および雛まつり展のテレビ広告40本

8. ボランティア業務の運営

(1) 登録者数 381名

(2) 展示解説

①平日の解説

②土・日・祝日の展示解説

③土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習や団体学習

④申し込み団体への解説

- ・ 概要解説 90件(延べ人数 2,300名)
- ・ 体験講座(聞香・貝あわせ)－日本の伝統文化にふれる－ 32件(延べ人数 751名)

(3) 行事

懇親会 26. 3. 8 160名

(4) 研修

- ①名古屋東照宮見学会 25. 4. 17
- ②定光寺見学会 5. 14
- ③愛知県美術館見学 6. 5
- ④建中寺見学会 11. 12

(5) その他の活動

- ①学芸部・企画推進部業務支援 1名
- ②特別専任ボランティア 7名
- ③講座等題字作成 1名
- ④館内生け花 1名

〔10〕管 理

1. 以下のような建物・設備の営繕工事を行った。

- 第一展示室自動ドア開閉装置取替
- 山ノ茶屋修繕工事
- 出入口階段スロープ手摺修繕工事
- 2階各部屋窓枠補修工事
- 本館新館展示室と共用部分の一部の照明管球取替
- 北通用口電気錠取替
- 非常用自家発電機 蓄電池取替
- 心空庵屋根瓦・雨樋修繕
- 消防設備不具合箇所修理
- 来客用エレベーター修繕
- 高圧受変電設備変圧器取替
- 東門門扉修繕
- 冷水制御弁コントロールモーター取替
- 収蔵庫空調機加湿器取替
- 非常用侵入口扉電気錠取替
- 宝善亭避難器具改修工事
- 中庭芝生張り替え
- 新館床コンセント改修

事業計画で予定していた下記事業は翌年度以降に繰り越した。

- 廊下・バックヤード照明LED取替
- 展示移動ケースの免震装置推進

2. 下記の備品を購入した。

- デジタルカメラ
- 第6展示室40型モニター

〔1 1〕 第22回徳川美術館運営懇話会

- 開催日 平成25年8月27日（火）午後4時30分から5時30分
- 開催場所 徳川美術館 貴賓室
- 出席委員 一般社団法人中部経済連合会会長 三田敏雄氏、愛知県知事 大村秀章氏
名古屋市長 河村たかし氏、名古屋鉄道㈱代表取締役会長 河野英雄氏、
㈱三菱東京UFJ銀行顧問 佐々和夫氏、公益財団法人徳川黎明会会長・
徳川美術館館長 徳川義崇 （6名）
- 欠席委員 名古屋商工会議所会頭 高橋治朗氏、トヨタ自動車㈱最高顧問 豊田英二氏、
中部電力㈱社長 水野明久氏（3名）
- 議事進行 議題1 委員交代の件
木村 操 名古屋鉄道株式会社相談役が退任、後任は河野英雄 代表取締役
会長
議題2 徳川美術館の運営報告
副館長が平成24年度の展覧会事業・施設管理状況等の報告を行った。
議題3 徳川美術館の収支報告
管理部長が平成24年度の収支状況の報告を行った。

〔1 2〕 徳川園調整会議、企画・業務部会への参加

下記のように開催され、職員が適宜出席した。

1. 徳川園調整会議

- 開催日時 平成26年1月31日（金）午前10時00分～12時00分
- 議 題
- ・各施設の本年度実績と来年度計画
 - ・3館共通入場券について
 - ・徳川園および徳川美術館敷地内施設の登録文化財申請について
 - ・誘客活動の共同推進について
 - ・大災害発生における帰宅困難者対応について
 - ・平成26年（2014）徳川園・蓬左文庫新装オープン10周年（仮称）及び
平成27年（2015）徳川美術館・蓬左文庫開館80周年について

2. 徳川園企画・業務部会

開催日時 平成26年1月16日（木）午後3時～4時

- 議 題
- ・各施設事業の実施状況
 - ・来年度の事業計画の概要
 - ・調整会議に向けての意見調整

〔13〕「国宝重要文化財等保存整備費補助金」

1. 平成24年度に文化財関係国庫補助事業として、重要文化財に指定されている 本多平八郎姿絵屏風の修理を実施・完了した。平成25年4月26日付けで国庫より、5月23日付けで愛知県より交付を受けた。

〔対象文化財名〕 重要文化財 本多平八郎姿絵屏風 二曲一隻
(風俗図屏風)

2. 平成24年度より平成27年度完了予定で文化財関係国庫補助事業として、国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面の修理を行った。このうち平成24年度分として、平成25年4月26日付けで国庫より交付を受けた。(平成24年度の愛知県からの随伴補助はなし。)
なお、この事業にかかる平成25年度の補助金は年度替わりの平成26年度に入金のため、この分についての報告は次年度に行なう。

〔対象文化財名〕 国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面
(紙本著色源氏物語絵巻)

〔14〕活動支援基金

1. 寄附金受付業務

寄附金額 25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

17,402,500 円 法人 11 件（15.10口） 個人183 件（1589.25口）

但し、個人1件 10,000,000円は指定正味財産の受取寄附金として処理。

参考

平成22年度 (22.4.1～23.2.28)	平成23年度 (23.4.1～24.3.31)	平成24年度 (24.4.1～25.3.31)	平成25年度 (25.4.1～26.3.31)
法人 16件 3,710,000円	法人 27件 4,160,000円	法人 10件 3,540,000円	法人 11件 1,510,000円
個人188件10,780,000円	個人258件 8,440,000円	個人 67件 4,650,000円	個人183件15,892,500円
計 14,490,000円	計 12,600,000円	計 8,190,000円	計 17,402,500円

2. 大口寄附者に対する感謝状の贈呈（法人は10口以上、個人は30口以上） 敬称略

個人会員 三田敏雄 平田米男 安藤鉦二 長尾茂行
 三浦剛裕 千藤 猛

3. 寄附金の使途

〔文化財保存事業〕

購入

武野紹鴎消息 一幅 2,000,000円

葉月物語 一冊 630,000円

修理

紅綸子地葵紋付帆掛舟に千鳥文鎧下着 一領 1,260,130円（継続中）

雲龍・雪梅・風竹図 狩野山雪筆 三幅対 1,597,743円

〔公 2〕

林政史の調査研究事業(徳川林政史研究所)

〔1〕調 査・研 究

1. 研 究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
① 近世材木商の研究	所 長	竹内 誠 平成11年4月
② 江戸の園地政策	副 所 長	深井 雅海 // 18年4月
③ 近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員	白根 孝胤 // 20年4月
④ 尾張藩幕末維新史の研究	非常勤研究員	藤田 英昭 // 24年4月
⑤ 近世～近代の森林資源と地域社会	非常勤研究員	芳賀 和樹 // 25年4月
⑥ 近代林業・山村の展開	特任研究員・筑波大学教授	加藤 衛弘 // 25年4月
⑦ 近世尾張藩領木曾山における林業生産の構造	特任研究員	大崎 晃 // 25年4月
⑧ 江戸武家屋敷の研究	非常勤研究員	渋谷葉子 // 25年4月

2. 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)による研究

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

①特定奨励費

交 付 機 関 文部科学省
研究事業名 日本林政史の調査・研究・普及活動に関する事業
申 請 者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所

②基盤研究 (A)

交 付 機 関 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名 法令・人事から見た近世政策決定システムの研究
研究分担者名 白根孝胤 (研究員)

③基盤研究 (B)

交 付 機 関 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名 江戸武家地の空間変容に関する文理統合的研究
研究分担者名 渋谷葉子 (非常勤研究員)

3. 史料調査

①自主事業による史料調査

八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査（受託事業）	第1回	25. 6. 10～ 6. 13
〃	第2回	9. 10～ 9. 13
たつの市立龍野歴史文化資料館史料調査（上廣倫理財団助成事業）	第1回	25. 7. 5～ 7. 8
〃	第2回	26. 1. 25～ 1. 27
国立公文書館つくば分館史料調査（上廣倫理財団助成事業）		26. 2. 13～ 2. 14

②科学研究費補助金（特定奨励費）補助事業による史料調査

林政史アーカイブズ調査	
秋田県公文書館所蔵史料調査	25. 5. 11～ 5. 14
長野県立歴史館所蔵史料調査	25. 8. 29～ 9. 1
岐阜県歴史資料館・飛騨高山まちの博物館所蔵史料調査	25. 11. 24～11. 27

4. 研究会開催

① 25. 11. 11 於 徳川林政史研究所

寛政期の秋田藩林政改革	芳賀 和樹
名古屋城庭園の植栽空間と徳川斉朝	白根 孝胤

② 25. 11. 18 於 徳川林政史研究所

幕末の徳川将軍家と尾張家十五代徳川茂徳	藤田 英昭
尾張藩江戸屋敷の機能的秩序	渋谷 葉子

[2] 若手研究者の育成

1. 研究会開催

① 第1回

25. 8. 9	於（公財）上廣倫理財団UPホール	
相摸国柳川村与兵衛と漆商売—小田原藩専売制との関わりから—		桐生 海正
弘前藩領岩木山の実態とその利用—稗場・採草地を中心に—		萱場 真仁
「時献上」の基礎的考察		塚田 沙也加
坂本町における扣地について		横山 考之輔
尾張徳川家第十八代当主徳川義禮がめざした「精神内部ノ改良」		長沼 秀明
村の飢饉と備え—秋田藩の山村と農村		栗原 健一
復興を目指して—山と川と村をつなぐ秋田藩政—		芳賀 和樹

② 第2回

26. 3. 7 於 豊島区勤労福祉会館 第5・6 会議室

文化十年陸奥国津軽郡弘前藩領強訴と義民“藤田民次郎”
—「義民」概念の再検討—

萱場 真仁

近世・近代移行期の山村と炭専売制
—小田原藩領神縄村佐治兵衛を中心に—

桐生 海正

小普請組にみる譜代席御家人成立の意義

田原 昇

奏者番の披露に関する一考察

高田 綾子

尾張藩御小納戸金について

根岸 美季

写真が語る徳川慶勝の幕末・明治

白根 孝胤

[3] 編集・刊行

1. 「研究紀要」第47号 寄贈・頒布業務

印刷部数 650部 内、寄贈・交換 527冊 頒布47冊

2. 「研究紀要」第48号 編集・刊行

① 名古屋城庭園の植栽空間と徳川斉朝

白根 孝胤

② 元禄期における経済環境の変化と材木商業資本
—木曾山森林資源の限界と在方材木商人の複合経営化—

大崎 晃

③ 寛政期の秋田藩林政と藩政改革

芳賀 和樹

④ 秋田藩における山村の備荒貯蓄
—出羽国秋田郡小猿部七日市村を事例に—

栗原 健一

⑤ 大名江戸屋敷の機能的秩序
—尾張藩を素材として—

渋谷 葉子

⑥ 幕末の徳川将軍家と尾張家十五代徳川茂徳

藤田 英昭

⑦ [書評] 佐藤孝之『近世山村地域史の研究』

山崎 久登

[4] 史料の収集整理

1. 所蔵史料の整理・データベース作成

① 尾張徳川家文書(尾5)の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った(平成25年度は545点整理・入力済み、見積総数1,256点のうち計1,142点完了)。

- ② 尾張徳川家文書の合綴史料を整理し、目録カードを作成した（平成25年度は853点整理、見積総数3,500点のうち計2,505点完了）。
 - ③ 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った（平成25年度は339点整理・入力済み、見積総数10,250点のうち計5,621点完了）。
 - ④ 日本林政史調査資料―仙台藩の細目を採録し、データ入力を行った（平成25年度は、総44点のうち22点完了、すべて完了）。
 - ⑤ 旧名古屋税務監督局所蔵史料の目録確認作業を実施し、データ入力を行った（平成25年度作業開始、史料総点数3,312点のうち、3,312点完了）。
- ※ 見積総数：各史料群の点数は整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により新たに史料が確認されて点数が増加する見込であるため、整理中のものについては現時点で「見積総数」と標記している。

2. 研究用史料の写真撮影

研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- ① 秋田県公文書館所蔵史料（デジタルデータ 6,421コマ）
- ② 長野県立歴史館所蔵史料（デジタルデータ 2,353コマ）
- ③ 飛騨高山まちの博物館所蔵史料（デジタルデータ 893コマ）
- ④ 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ 589コマ）
- ⑤ たつの市龍野歴史文化資料館所蔵史料（デジタルデータ 2,176コマ）
- ⑥ 国立公文書館つくば分館（デジタルデータ 4,726コマ）

3. 所蔵史料のデジタルデータ化

研究の便を図ると共に、今後の情報公開などに活用するため所蔵史料のデジタルデータ化を行った。

- ① ガラス板古写真のデジタルデータ化(7点9カット)
- ② 古文書のデジタルデータ化
 - ・ 外部委託によるデジタルデータ化(「林絵図」「続林絵図」他絵図 カラー101点)
 - ・ デジタルマイクロリーダープリンター導入による自館でのデジタルデータ化(「御日記」等973コマ)

[5] 所蔵史料の目録刊行

- 1. 尾張徳川家文書目録(十)を研究紀要第48号に収録刊行した。
- 2. 石河家文書目録(九)を研究紀要第48号に収録刊行した。
- 3. 日本林制史調査資料目録―仙台藩(二)を研究紀要第48号に収録刊行した。

[6] 教育・普及

1. 徳川林政史研究所公開講座

徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)	(参加者数)
① 林政史特別講座 松平定信とその時代	25. 9. 5	竹内 誠	100名
② 寛政改革の黒幕・一橋治済	9. 12	深井 雅海	90名
③ 山野の恵みと村の再生―秋田藩の寛政改革―	9. 19	芳賀 和樹	93名
④ 将軍の牧場 (まきば)	10. 3	藤田 英昭	80名
⑤ 尾張家庭園における饗応と将軍	10. 10	白根 孝胤	88名

2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)
① それぞれの幕末維新―高須四兄弟の生き方―	25. 6. 8	竹内 誠
② 幕末における将軍の言葉	6. 15	深井 雅海
③ 徳川慶勝 北海道八雲開拓への想い	6. 22	藤田 英昭
④ 木曾山の明治維新	6. 29	芳賀 和樹
⑤ 古写真が語る徳川慶勝の幕末・明治(1)	7. 6	白根 孝胤
⑥ " (2)	7. 13	"

3. 徳川林政史研究所公開講座「改革の幕開け―村と山の復興と秋田藩政―」

徳川林政史研究所・秋田県公文書館・秋田県生涯学習センター共催

25. 10. 12 於 秋田県生涯学習センター 3階講堂

参加者84名

① 中期藩政改革をどうとらえるか	金森 正也
② 秋田藩における村の飢饉と備え	栗原 健一
③ 復興を目指して―山と川と村をつなぐ秋田藩政―	芳賀 和樹
④ 質疑・討論	司会 白根 孝胤

4. 成果刊行

徳川慶勝関連古写真資料の研究の成果をまとめた

『写真集 尾張徳川家の幕末維新 ―徳川林政史研究所所蔵写真―』徳川義崇監修 徳川林政史研究所編(吉川弘文館 平成26年3月1日発行)

を刊行した。

5. 講 演・講 座

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
八重・捨・岩の生き方	東京神田ロータリークラブ	25. 5. 16	竹内 誠
江戸の暮らしを語る	全国水産商業連合大会	7. 14	〃
大岡越前と遠山金四郎	日本工業倶楽部素修会	7. 24	〃
浅草寺―雷門の再建―	浅草寺夏期研修会	8. 2	〃
幕末維新を生き抜いた女性たち	長野県須坂市立博物館文化講演会	9. 28	〃
高須四兄弟の幕末維新	交詢社文化シリーズ公開講演会	10. 9	〃
近代における大相撲の革新	日本臨床検査技師会大会	10. 26	〃
江戸の防災	小石川消防署「防災のつどい」講演	11. 8	〃
風俗史上の大相撲	日本風俗史学会大会	11. 23	〃
寛政改革と松平定信	深川江戸資料館	11. 29	〃
木曾川の運材を語る	木曾川学研究協議会(於各務原市)	11. 30	〃
相撲と浮世絵	大浮世絵展記念シンポジウム	26. 1. 26	〃
江戸城内の行事と儀礼	第129回江戸東京博物館友の会セミナー	25. 5. 17	深井雅海
将軍権威と殿中儀礼	群馬県大泉町成人教養講座	6. 24	〃
徳川幕府の職制と将軍の生活	〃	7. 1	〃
江戸城請取りの顛末	神奈川県土曜古文書会	7. 29	〃
尾張家庭園の世界―天下の名園と将軍・大名―	板橋区公文書館講演会	25. 9. 16	白根孝胤
維新後の勝海舟―教育支援と人材育成―	八潮市文化財保護課歴史講座	25. 6. 9	藤田英昭
徳川慶喜と幕末の志士	渋沢史料館 青淵文庫	6. 30	〃
幕末の将軍権威と江戸城	板橋区公文書館講演会	9. 14	〃
勝海舟宛書簡に見る幕末・維新	パルテノン多摩古文書中級コース	9. 20 ほか	〃
幕末期における徳川将軍と天皇	神奈川県立公文書館古文書解説基礎講座	10. 6	〃
『昔夢会筆記』から幕末維新期 徳川慶喜の状況を読む①証言 に見る徳川慶喜の大坂逃亡	文京アカデミア講座	10. 18	〃
知られざる徳川の女性―徳川家 康の側室・英勝院とその時代	千葉県文書館古文書講座初級コース	10. 22 ほか	〃
『昔夢会筆記』から幕末維新期 徳川慶喜の状況を読む②徳川慶 喜と幕末京都	文京アカデミア講座	11. 1	〃
松平定敬とその時代	「桑名学」歴史講演会	12. 22	〃
秋田藩の林政改革と近代への 継承	森林・林業技術交流発表会	26. 2. 6	芳賀 和樹

6. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、下記の調査・見学に協力した。

- ① 学習院大学「博物館実習」クラス（学芸員資格取得課程）の学外授業として、担当教師の付き添いのもと学生10名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。25. 6. 27
- ② 一般財団法人 招鶴亭文庫職員の視察に対し、所蔵史料の公開・閲覧対応について説明を行った。26. 1. 21

7. 案内パンフレットの作成

- ① 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成25年度版を作成した。

8. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、研究紀要掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

9. 部外出講

- ① 聖心女子大学 日本文化史Ⅱ 後期 白根 孝胤

[7] 徳川美術館との連携

1. 展覧会への史料出陳

展覧会名称	会 期	出陳史料名
「名古屋城・下御深井御庭」展	25. 4. 13 ～ 5. 26	「源順様御代下御庭図面」等2件
「尾張名古屋の絵師たち」展	25. 6. 1 ～ 7. 21	「名画図譜」等計2件
「歿後130年 徳川慶勝」展	25. 7. 27 ～ 9. 23	徳川慶勝撮影古写真や「勤王誘引書類」等114件
「新年を祝う」展	26. 1. 4 ～ 2. 2	「礼物軌式」「進撰要覧」などの一部、計3件

2. 研究協力

徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究をはじめ、徳川美術館学芸員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

中でも徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究の成果は、徳川美術館における夏季特別展「徳川慶勝 一知られざる写真家大名の生涯―」（会期：平成25年7月27日～9月23日）の実施、図録刊行、また徳川林政史研究所における『写真集 尾張徳川家の幕末維新 一徳川林政史研究所所蔵写真―』徳川義崇監修 徳川林政史研究所編（吉川弘文館）の刊行に繋がった。

〔8〕 図書の収集・整理

1. 圖書整理

- ① 昨年度に引き続き図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、新着図書480冊に対し、ラベル貼付、並びに入力作業を行なった。

2. 図書購入・受贈

- ① 図書は『日本砂防史』等192冊を購入。その他寄贈された図書288冊。
② 雑誌は『歴史学研究』等170冊を購入。その他寄贈された雑誌528冊。

〔9〕 閲覧・複写・出陳・レファレンス業務

1. 閱覽

本研究所は約7万8000点の歴史資料(旧蓬左文庫所蔵史料・尾張徳川家文書・旧名古屋税務監督局所蔵史料・旧愛知県庁所蔵史料・写真資料など)を所蔵し、閲覧日を設けて定期的に所外研究者に対する閲覧の便宜を図っている。本年度の閲覧許可件数は26件、延べ閲覧者数333人に上った。

2. 史料複写

本研究所史料の複写申し込み件数は、本年度は101件であった。

うち、林政史研究所にて直接受け付けたのは99件、

愛知県図書館にて閲覧許可している紙焼史料に対する複写申請は0件、

愛知県公文書館 〃 2件

であつた。

この他、蓬左文庫で受け付けた二次複写申請は13件であった。

3. 所蔵史料の出陳

出 陳 先	展 覧 会 名 称	会 期	出 陳 品
名古屋城天守閣	「巨大城郭 名古屋城」展	25. 10. 12 ～ 11. 24	「国秘録」「材木仕出注文書」等 計7件
犬山城白帝文庫	「城主のおもてなし」	25. 11. 1 ～ 12. 2	「犬山岐阜御供ノ衆記帳」等 計4件

[10] 補助金関係

平成25年度に交付された以下の科学研究費助成事業(科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金)について 申請・報告事務と経費管理事務を行った。

※「科学研究費補助金事業」は、制度改革により「科学研究費助成事業」となり、(科学研究費補助金)と(学術研究助成基金助成金)に区分されているため、その区分に合わせた表記とした。

1. 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)

①特定奨励費 申請者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所
研究事業名 日本林政史の調査・研究・普及活動に関する事業
交付機関 文部科学省

②基盤研究(A) 研究分担者 白根孝胤
研究課題名 法令・人事から見た近世政策決定システムの研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

③基盤研究(B) 研究分担者 渋谷葉子
研究課題名 江戸武家地の空間変容に関する文理統合的研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

④基盤研究(B) 研究分担者 安藤香織(徳川美術館)
研究課題名 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

2. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)

平成25年度は学術助成基金助成金による助成無し

[11] 事業評価委員会

平成26年3月10日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成25年度事業について評価・講評を受けた。

[12] 徳川記念財団への協力

本研究所では受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料 約5,130点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された徳川記念財団が調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。

平成25年度は徳川記念財団が実施した展示事業と閲覧11件について協力した。

史料名（徳川記念財団所蔵）	期 間	目的
「禁裏御増米拾五万俵書付」等 16件16点	25. 4. 19	閲覧対応
「義元左文字刀振書上帳」等 54件54点	8. 14	〃
「東照宮御実紀」等 5件10点	11. 7	〃
「香道秘伝書」等 60件 288点	11. 7	〃
「新題林和歌集」等 5件 69点	12. 19	〃
「慶安御触書」1件 1点	26. 1. 10	〃
「厳有院殿御実紀」等 11件 152点	2. 7	〃
「駿府記」1件 1点	3. 11～ 継続中	展示事業
「有徳院殿御実紀」等 5件 20点	4. 26～ 継続中	〃
「勅答之書付写」等 13件 18点	3. 17	閲覧対応
「常憲院殿御実紀」等 6件 50点	3. 17	〃

[13] 設備管理

建物・設備の営繕工事等を以下のように行った。

- ①本部建物漏水補修工事
- ②3号書庫・図書室環境微生物モニタリング
- ③3号書庫・図書室系統空調ダクト清掃
- ④3号書庫・図書室系統空調ダクト設備工事

[14] 資産の取得

下記の資産を取得した。

1. 建物附属設備

- ①3号書庫・図書室系統空調ダクト設備工事

2. 什器備品

- ①ノートパソコン 1台

3. 図書

購入及寄贈図書のうち356冊を図書資産として取得した

[15] 活動支援基金

平成25年度から徳川林政史研究所の事業を対象にした募金活動を開始した。25年度の実績は以下の通りである。

1. 寄附金受付業務

寄附金額 25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

1,440,000 円 法人 0 件（0口） 個人 26 件（144口）

2. 寄附金の使途

〔史料保存環境の整備〕

村絵図保存用中性紙箱（トレイ付棚はめ込み箱）25ヶの購入

Ⅲ. 収益事業

〔収 1〕

不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 外国人向け住宅6棟中4棟の賃貸を行った。
2. 平成25年度は賃貸住宅工事等により以下の固定資産を取得した。
 - （1）建物付属設備 1件
 - （2）什器備品 9件

〔収 2〕

ミュージアムショップの運営事業等（徳川美術館）

- （1）各展覧会に則した商品陳列等、ショップ内のディスプレイを工夫・改善した。
- （2）オンラインショップをオープンさせ、図録やミュージアムグッズの販促を行った。
- （3）新商品の開発を行った。（B6クリアファイル、刀剣型ペーパーナイフ、葵紋タックピン、ブロックメモ）
- （4）ミュージアムショップを一部改装し、見やすい売り場に変更した
- （5）巡回展など、外販を積極的に展開した（九州国立博物館）
- （6）商品売上分析による戦略的販売計画を策定した
- （7）外販部門「ショップ葵」への商品納入方法を、委託から買取へ変更した
- （8）雛まつり期間中で東ロビーで特設ショップをオープン
- （9）増税対策で一部好調商品の買取を実施

事業報告の附属明細書

平成25年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 徳川黎明会